

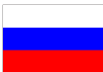
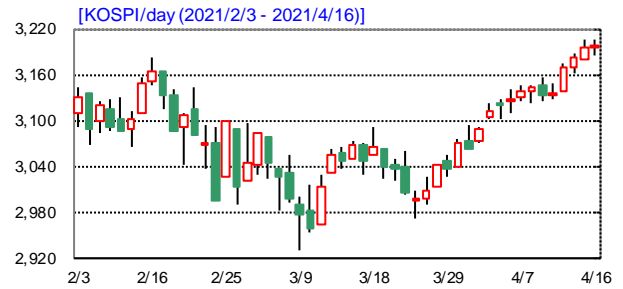


【韓国】 総合指数は 2.1%高と 4 週続伸、今週は 3200 ポイント突破で堅調か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 2.1%高と 4 週続伸。週明け 12 日から 5 日続伸と好調に推移し、取引時間中に一時、心理的節目の 3200 ポイントを上回る場面も見られた。16 日終値は 1 月 25 日以来、約 3 カ月ぶり高値。国内で新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、警戒感から上値は重くなったが、米国の景気回復期待や 13 日に発表された中国の貿易統計を好感し、ハイテク株が買われて相場を押し上げた。個別では、株式分割後に取引を再開したメッセージアプリ大手のカカオが 15 日に急伸した。今週も引き続き国内の感染状況が懸念材料となりそうだが、インフレや早期のテーパリング（量的緩和の縮小）を巡る不安が後退する中、3200 ポイントを突破し、堅調に推移するか。企業決算を手掛かりに個別物色の動きも強まりそうだ。

▼指数チャート

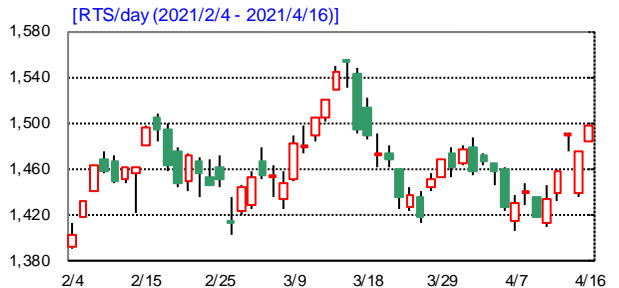


【ロシア】 RTS 指数は 5.6%高と大幅反発、今週も堅調な商品相場が追い風か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 5.6%高と大幅に反発。経済制裁懸念の緩和、原油高、ルーブル高を追い風に 1 カ月ぶりの高値水準を回復した。対ロ経済制裁懸念が和らいだほか、世界的な景気回復期待を背景に原油、メタル、貴金属などの商品相場が大幅に上昇し、追い風となった。米ドル安・ルーブル高が進んだこともドル建てで取引される RTS 指数を押し上げた。指数は 15 日を除く 4 日間で上昇し、1497.05 ドルと週間高値で終了。1 カ月ぶりの水準を回復し、年初来では 7.9%高となった。個別では、鉄鋼のセヴェルスタリが 15.0%高、ノボリペツク製鉄所が 8.3%高と急伸。ガスプロムが 5.8%高、ポリュスが 4.8%高、ノリリスク・ニッケルが 4.4%高と資源・エネルギー株も指数を押し上げた。今週も堅調な商品相場が追い風となるか。

▼指数チャート



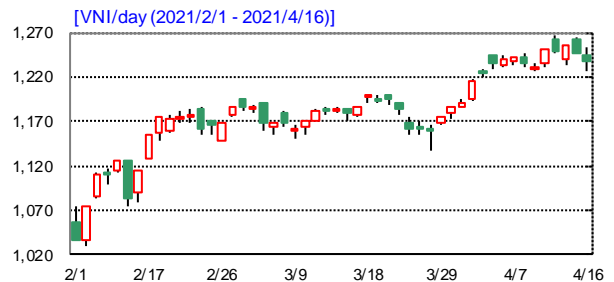
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 0.6%高と 3 週続伸、今週は先高観を背景に堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.6%高と 3 週続伸。アナリストの強気な見通しを好感し、指数は 3 週連続で過去最高値を更新した。ベトナム証券は 2021 年の GDP 成長率をプラス 6.8-7.0%と予想し、VN 指数が年内に 1400 ドルを突破するとの見通しを示した。前週まで 2 週連続で最高値を更新した指数は、こうした見通しも好感され、12 日と 14 日に最高値を更新。週後半はもみ合ったものの、3 週続伸となった。個別銘柄では不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが 20.0%高、鉄鋼のホア・ファットが 10.2%高と急伸し、食品加工のマサン・グループが 8.7%高となった一方、ゴム製品のベトナム・ラバーが 10.5%、金融のベトナム投資開発銀行が 5.2%、軍隊商業銀行が 3.7%下落した。今週も先高観を背景に堅調か。

▼指数チャート



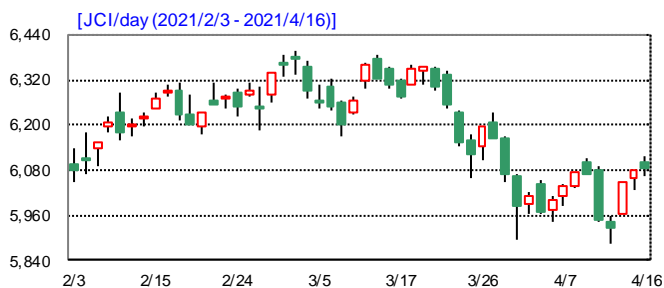


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%高、今週は 20 日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%高と続伸。週半ば以降の上昇が指数を支えた。週初の 12 日は、2 月の小売売上高が前年同月比 18.1%減と 15 カ月連続で前年の水準を下回ったことなどが嫌気され、指数は前営業日比 2.0%安と続落。13 日も下げ止まらず、さらに下値を広げたが、14 日は反動で買い戻され、前日比 2.1%高と終値で 3 日ぶりに 6000 ポイント台を回復した。15 日は 3 月の輸出額が前年同月比 30.5%増と市場予想から上振れした効果で続伸すると、16 日も小幅に上昇して取引を終えた。今週は 20 日に中央銀行が定例会合を開催する予定で、政策金利は 3.50%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート

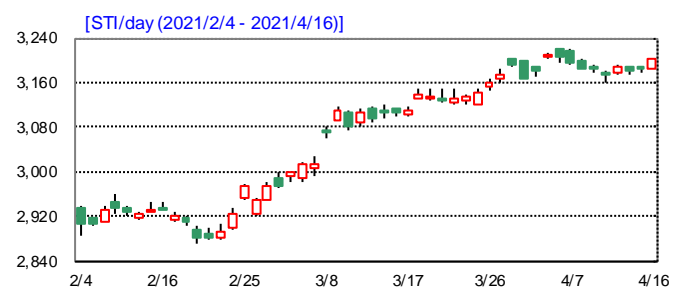


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.5%高、1-3 月期の GDP 速報値は前年同期比 0.2%増

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.5%高と 8 週続伸。週末の上昇が奏功した。週初の 12 日は前週から下げ止まらず 5 営業日続落したが、13 日は反発。ただ、14 日は 1-3 月期の GDP 速報値が前年同期比 0.2%増と、5 四半期ぶりに前年の水準を上回ったほか、金融通貨庁が緩和的な金融政策の継続が妥当との見方を示したものの買い材料視されず、指数は反落した。週後半は買い優勢の展開で、15 日に反発すると、16 日は 3 月の非石油地場輸出が前年同月比 12.1%増と市場予想から上振れた効果で続伸し、終値で 8 営業日ぶりに 3200 ポイント台に乗せている。今週は 23 日に 3 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.1%安、今週は 3 月の貿易統計に期待

SET 指数は 2 日間の取引で 1.1%安と続落。週初の下落が響いた。12 日は新型コロナウイルスの新規感染者数の急増が嫌気され、指数は前営業日比 1.6%安と 3 日ぶりに反落。一方、ソンクラーン（旧正月）の連休を挟んだ 16 日は、前日に発表された米国の 3 月の小売売上高が追加経済対策の効果で前月から 9.8%増加したほか、中国の 1-3 月期の GDP が前年同期比 18.3%増と好調だったことが買い材料視されて反発した。今週は 22 日に 3 月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定で、輸出額が前年同月の水準を上回れば好材料。政府は感染者数の増加を受けて、18 日から経済活動の制限を再強化している。

▼指数チャート

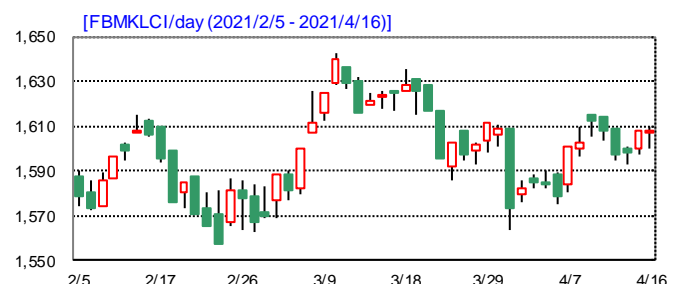


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.2%安、新型コロナウイルスの感染再拡大を嫌気

クアラルンプール総合指数は週間で 0.2%安と反落。国内の経済イベントが少ない中、週半ば以降に買い戻されたが補えなかった。週初の 12 日は、前週末に値上がりした通信のアシアタ・グループとデジ・ドット・コムに利益確定売りが出て、指数は 4 営業日ぶりに反落。13 日は新型コロナウイルスの感染者数が再び増加に転じ、経済回復の遅れに対する懸念が広がった影響で売られ、終値で 5 日ぶりに 1600 ポイントを割った。ただ、14 日に小幅反発すると、15 日はゴム手袋メーカー株が指数上昇をけん引して続伸。16 日は前日からほぼ横ばいで取引を終えている。今週は 23 日に 3 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。